

---

# 経済 TOPICS

No. 196  
(2022年2月22日)

## 景気ウォッチング（要旨）

日本 … 輸出がやや弱めの動きとなっているものの、生産が供給制約の緩和などにより持ち直しているほか、設備投資や消費が緩やかに持ち直していることから、全体としては緩やかに持ち直している。ただ、新変異株の感染が急拡大していることから、先行き不透明感が強くなっている。

米国 … 生産や輸出が緩やかに持ち直しているほか、消費や設備投資も回復していることから、全体としては回復を続けている。この間、消費者物価指数の上昇が続いている。

欧州 … 生産や設備投資が横這いの動きとなっているものの、輸出や消費が改善していることから、緩やかに持ち直している。この間、生産者物価の上昇が続いている。

中国 … 輸出は増加しているものの、不動産開発投資が大幅に減少し、消費や生産の回復も鈍化していることから、全体としては回復テンポが減速している。この間、生産者物価の上昇幅が縮小している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所

---